

キュウリ の育て方

●作り方のポイント

- ①キュウリは、**ビタミンC**、**カリウム**を多く含みます。
- ②キュウリは温和な気候を好みます。
- ③根が浅く乾燥に弱いので水やりはこまめにしましょう。
- ④耐病性・耐暑性の強い品種を選ぶと良いでしょう。
- ⑤挿木苗が比較的育てやすいでしょう。

●栽培カレンダー

		■ 種まき期 ■ 植えつけ期 ■ 収穫期											
月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
市販苗栽培					■	■	■	■	■				
直まき栽培	春まき			■	■	■	■	■	■				
	夏まき						■	■	■	■			

1 植え付け

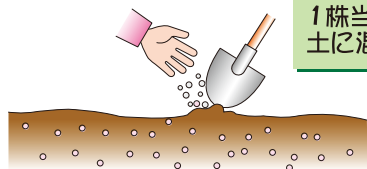


植え付けの1~2週間前に畝(うね)をつくる。幅を広く取って1m畝に1列に植える。

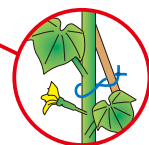
1㎡あたり堆肥2kg、苦土石灰200gを混ぜ込む。

元肥

1株当たり60gを土に混ぜ込む。

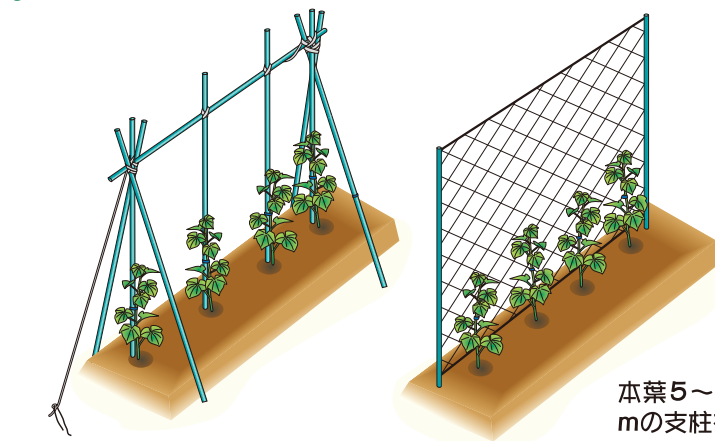


苗を穴において周りの土を寄せるように植える。仮支柱を立てて苗が倒れないように軽く縛る。

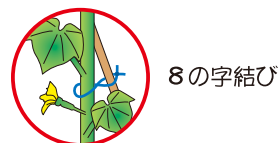


8の字になるように誘引する

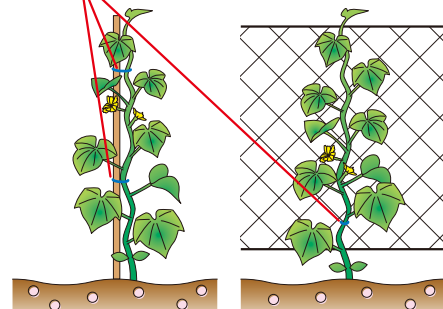
2 支柱たて、つるの結束、追肥



本葉5~6枚の頃、長さ2mの支柱を立てるかキュウリネットを張る。



8の字結び



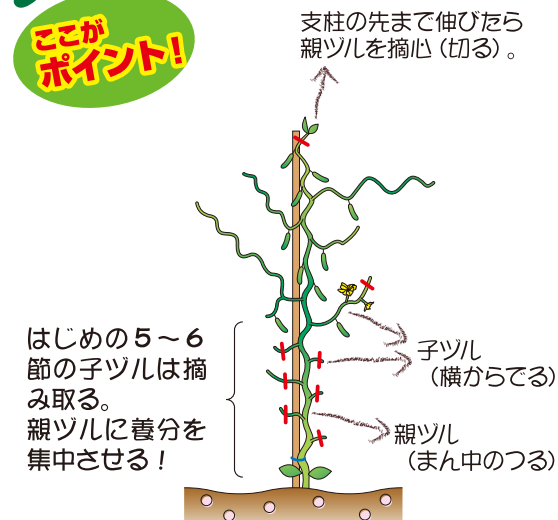
追肥

植え付け後約20日間隔に1株あたり60g与える

キュウリのつるは支柱に絡みつがないので、30~40cmごとにひもで縛る。ネットの場合はひげが絡むので初めに1回縛る。

3 整枝・収穫

ここがポイント!

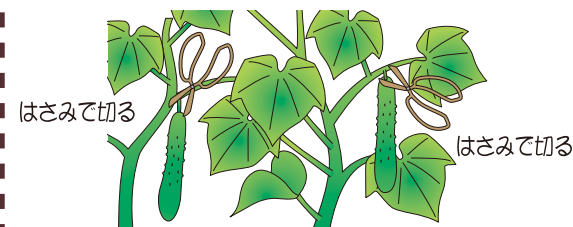


支柱の先まで伸びたら親ツルを摘心(切る)。

はじめの5~6節の子ツルは摘み取る。親ツルに養分を集中させる!

子ツル(横からてる)
親ツル(まん中のつる)

6月中旬くらいから収穫できる。1番最初の実を早めに収穫する。若どりすることで樹勢が衰えず次々に実がつく。



はさみで切る

はさみで切る